

# 女性の活動と学習のスパイラル

— 個人と組織の力量を高めるために —

編集・発行：財団法人 日本女性学習財団

— 全国の女性グループ・団体400組織、個人1,500人にアンケート調査し、結果を分析 —  
特に1995年の第4回世界女性会議以降、地域で多くの女性たちが多様な活動を展開しています。  
こうした活動の実態と課題を、個々の「自己形成」と「組織づくり」に着目し分析しました。  
個人と組織が育ち合う協働システムづくりには、＜学習する組織づくり＞が鍵になり、そのための組織デザインの必要性を提案しています。  
団体・グループの発展および会員一人ひとりのエンパワーメントにつながる運営を考える基礎資料、学習資料としてご活用ください。

## 内 容

- I 調査の概要 \*組織と個人の基本的属性について
- II 調査結果 \*組織と個人の特徴について  
(単純集計)
- III 分析結果 \*組織：成立年代別・学習形態別・活動テーマ別  
(クロス集計)  
\*個人：年齢層別・活動テーマ別
- IV 課題と展望 \*グループが直面する問題と解決方法  
\*学習と活動のらせんの発展  
\*学習と活動を「自己変容」と「集団づくり」の  
2側面からとらえる

調査研究委員 亀田 温子 十文字学園女子大学教授 ※委員長  
稲葉 昭英 東京都立大学助教授  
中澤 智恵 東京学芸大学助教授  
山岡 ティ 情報教育研究所所長



- ★ 活動グループの組織づくりのポイントを提示。
- ★ 活動女性の動きと本音を具体的に提示。
- ★ さまざまな活動と学習の発展的かかわりを考える基礎資料を提供。
- ★ これからの生涯学習、男女共同参画の活動の課題と展望を提言。

グループの学習教材や運営の  
資料としてご活用ください